

2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社リベルタ 上場取引所 東
 コード番号 4935 URL http://liberta-j.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 透
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 二田 俊作 (TEL) 03 (5489) 7661
 定時株主総会開催予定日 2021年3月29日 配当支払開始予定日 2021年3月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	5,110	21.6	295	120.2	263	123.2	155	114.7
2019年12月期	4,203	△ 5.5	134	△ 59.7	118	△ 62.7	72	△ 67.3
(注) 包括利益	2020年12月期 156 百万円 (120.7%)		2019年12月期 71 百万円 (△ 67.7%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	59.22	59.18	16.8	9.4	5.8
2019年12月期	31.13	-	11.0	5.1	3.2

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 -百万円 2019年12月期 -百万円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないことから記載しておりません。
 2. 当社は、2020年12月17日に東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) へ上場したため、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	3,176	1,168	36.6	400.26
2019年12月期	2,408	688	28.4	262.75

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,163 百万円 2019年12月期 685 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	△ 150	△ 26	419	678
2019年12月期	45	△ 47	124	443

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	-	-	-	3.00	3.00	7	9.6	1.1
2020年12月期	-	-	-	21.40	21.40	62	36.1	6.5
2021年12月期(予想)	-	-	-	21.50	21.50		30.0	

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,771	36.4	105	273.5	95	487.6	53	846.4	18.26
通期	5,750	12.5	370	25.3	350	32.9	208	34.1	71.61

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年12月期	2,908,000 株	2019年12月期	2,608,000 株
2020年12月期	- 株	2019年12月期	- 株
2020年12月期	2,621,114 株	2019年12月期	2,322,784 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	5,070	21.5	300	139.3	268	146.3	165	160.9
2019年12月期	4,173	△ 4.9	125	△ 59.8	108	△ 62.8	63	△ 68.9

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年12月期	63	05	63	00
2019年12月期	27	27	-	-

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないことから記載しておりません。

2. 当社は、2020年12月17日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）へ上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2020年12月期	3,170		1,166		36.8		400	97
2019年12月期	2,396		677		28.3		259	73

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,166百万円 2019年12月期 677百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、決算説明会は2021年2月12日(金)にWeb形式にて機関投資家及びアナリスト向けに開催する予定であります。この説明会で使用する資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行となった影響により世界各国で経済活動の制限が行われたことから、極めて厳しい状況となっております。日本においても新型コロナウイルス感染拡大に伴う2020年4月初旬の緊急事態宣言の発出と5月下旬に宣言が解除されるまで社会経済活動が大幅に抑制され景気は急速に悪化し、解除後もGOTOキャンペーンなどの効果により一時的に底打ち感が見られたものの、11月下旬からのいわゆる第三波によりGOTOキャンペーンが中止となるなど引き続き経済活動の停滞が続いており企業収益の悪化と雇用情勢の低迷による先行きの弱さが予想されております。

当社グループが属する化粧品、日用雑貨、機能衣料、腕時計及び加工食品業界におきましても新型コロナウイルス感染拡大の影響により、緊急事態宣言の発出と解除、その後のウイズコロナというライフスタイルの激変により消費者のニーズは安心、安全、衛生、健康へと向かい巣ごもり需要など消費者の購買行動も大きく変わり国内外において市場の変化が進んでおります。

このような事業環境のもと、当社グループはファブレスメーカーであることの強みである高い機動性を発揮し、市場の変化に対応し企画開発やプロモーション、販売、顧客リレーション活動に取り組んでまいりました。

この結果、前連結会計年度において米国にて発生した当社グループ商品の模倣品販売を排除できたことやコロナ禍における巣ごもり需要の影響で大きく伸長したことにより、主力のコスメ（ピーリングフットケア）商品売上高が1,205,164千円（前期比20.7%増）となり、「カピトルネード」がホームセンターからドラッグストアへと拡販が進み好調に推移したことで、トイレタリー商品売上高が1,405,348千円（前期比121.9%増）、「FREEZE TECH」が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらもウイズコロナという新しいライフスタイルに合わせ発売した「FREEZE TECH氷撃エチケットマスク」がヒットし、機能衣料商品売上高は707,679千円（前期比60.8%増）、コンビニエンスストアを中心に「アスミール」の導入が進み、加工食品商品売上高は16,806千円（前期比126.4%増）、家電量販店での新商品クリップ拡大鏡「THINOPTICS」の販売が開始されるなどし、健康美容雑貨商品売上高は22,851千円（前期比10.2%増）と好調に推移いたしました。一方、コロナ禍でのテレワークの浸透によりメイクアップ系コスメが低調となり、コスメ（その他）商品売上高は1,222,347千円（前期比15.4%減）、緊急事態宣言下における休業の影響によりLuminox Watch直営4店舗や卸販売先店舗の販売が低調となり、Watch商品売上高は295,044千円（前期比30.0%減）、テレビショッピング向け商材の販売が低調となり、その他商品売上高は235,003千円（前期比0.7%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高5,110,247千円（前期比21.6%増）、営業利益295,367千円（前期比120.2%増）、経常利益263,431千円（前期比123.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益155,231千円（前期比114.7%増）となりました。

なお、ジャンル別の売上高の状況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

ジャンル	2019年12月期	2020年12月期	増減率
コスメ（ピーリングフットケア）	998,209	1,205,164	20.7%
コスメ（その他）	1,445,542	1,222,347	△ 15.4%
トイレタリー	633,308	1,405,348	121.9%
機能衣料	440,167	707,679	60.8%
Watch	421,600	295,044	△ 30.0%
健康美容雑貨	20,744	22,851	10.2%
加工食品	7,425	16,806	126.4%
その他	236,760	235,003	△ 0.7%
合計	4,203,757	5,110,247	21.6%

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ767,855千円増加し、3,176,588千円となりました。これは主として、機能衣料ジャンルの「FREEZE TECH」、トイレタリージャンルの新商品「ウイルッシュ 薬用ハンドソープ」や同ジャンルで大きく増収となった「カピトルネード」の在庫が増加し商品及び製品が507,838千円増加、上場に伴う増資により現金及び預金が259,346千円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ287,556千円増加し、2,008,216千円となりました。これは主として、新規社債の発

行により1年内償還予定の社債及び社債が245,000千円増加したこと、増益により未払法人税等が71,356千円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ480,299千円増加し、1,168,371千円となりました。これは主として、増資に伴い資本金及び資本剰余金が331,200千円増加したこと、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより利益剰余金が147,407千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、大幅な増益となったもののたな卸資産の増加などの運転資金の支出の増加により、150,708千円の支出となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、ソフトウェア投資のほか定期預金の預入による支出により26,933千円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、増資に伴う新株の発行のほか、長期借入れ及び社債の発行による収入などにより419,080千円の収入となりました。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、678,944千円となりました。

(4) 今後の見通し

次期の世界経済は、欧米や中国などで接種が開始されている新型コロナウイルスのワクチン普及に期待が高まっているものの、景気が本格的に回復するには引き続き、時間を要するものと想定しております。我が国の経済におきましても一部の地域を対象に二度目の緊急事態宣言が発出され、景気に対する影響が懸念されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する化粧品、日用雑貨、機能衣料、腕時計及び加工食品業界におきましても新型コロナウイルス感染拡大の影響は継続し、消費者のニーズはより安心、安全、衛生、健康へ向かい巣ごもり需要など消費者の購買行動も続くものと想定しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、引き続きファブレスメーカーであることの強みである高い機動性を発揮し、市場の変化に対応し企画開発やプロモーション、販売、顧客リレーション活動に取り組んでまいります。これにより次期の連結業績予想といたしましては売上高5,750百万円、営業利益370百万円、経常利益350百万円、親会社株主に帰属する当期純利益208百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主資本利益率の向上に努め、配当性向を勘案しつつ安定的な配当の実施に努めるという考えのもと、長期に亘る安定的な経営基盤の確保をめざし、業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施することを基本方針としております。

上記方針に基づいた上、2020年12月期の業績・財務状況等を総合的に勘案し、日頃の株主の皆様のご支援に報いるため、未定とさせていただきます配当予想を1株当たり21.40円とさせていただきます。内訳といたしましては、今期連結業績予想に対する連結配当性向(注)30%にあたる16.05円を普通配当といたします。また、東京証券取引所JASDAQ市場への上場記念といたしまして、今期連結業績予想に対する連結配当性向10%にあたる5.35円を記念配当といたします。

この結果、連結配当性向は40%となる予定です。なお、この剰余金の配当は、2021年3月に開催予定の第25回定時株主総会に付議する予定です。

次期(2021年12月期)の期末配当につきましては、上記の配当方針に基づき、1株当たり21.50円(連結配当性向30.0%)を予定しております。

(注) 連結配当性向=配当支払総額/親会社株主に帰属する当期純利益

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性、コスト等を総合的に考慮し、現状は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、株式市場の動向、同業他社の動向及びその他国内外の諸情勢を考慮の上、国際財務報告基準(IFRS)の適用について検討を進めていく方針ですが、現時点においては未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700,131	959,477
受取手形及び売掛金	621,907	635,942
商品及び製品	743,509	1,251,347
原材料及び貯蔵品	57,620	21,804
前渡金	47,443	36,142
前払費用	26,984	30,408
その他	7,996	41,935
貸倒引当金	△901	△953
流動資産合計	2,204,690	2,976,106
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	56,246	51,806
減価償却累計額	△27,489	△30,475
建物附属設備(純額)	28,757	21,330
機械装置及び運搬具	59,498	56,832
減価償却累計額	△49,702	△52,007
機械装置及び運搬具(純額)	9,795	4,824
有形固定資産合計	38,552	26,155
無形固定資産		
ソフトウェア	2,850	7,130
その他	60	60
無形固定資産合計	2,910	7,190
投資その他の資産		
繰延税金資産	70,832	82,203
保証金	90,801	84,015
その他	945	916
投資その他の資産合計	162,578	167,135
固定資産合計	204,041	200,481
資産合計	2,408,732	3,176,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	305,124	263,830
1年内償還予定の社債	25,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	482,904	303,848
未払金	147,064	232,411
前受金	8,653	75,764
未払法人税等	35,690	107,046
未払消費税等	19,395	776
返品調整引当金	20,500	15,600
その他	49,174	55,333
流動負債合計	1,093,506	1,114,611
固定負債		
社債	-	210,000
長期借入金	557,689	615,446
製品保証引当金	7,600	4,400
役員退職慰労引当金	51,774	56,415
資産除去債務	10,091	7,344
固定負債合計	627,154	893,605
負債合計	1,720,660	2,008,216

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,055	183,655
資本剰余金	8,055	173,655
利益剰余金	659,012	806,419
株主資本合計	685,122	1,163,729
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	125	217
その他の包括利益累計額合計	125	217
非支配株主持分	2,824	4,424
純資産合計	688,071	1,168,371
負債純資産合計	2,408,732	3,176,588

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,203,757	5,110,247
売上原価	2,260,743	2,926,345
売上総利益	1,943,014	2,183,902
販売費及び一般管理費	1,808,879	1,888,534
営業利益	134,134	295,367
営業外収益		
受取利息	330	234
保険解約返戻金	43	-
補償金収入	2,500	825
助成金収入	1,234	7,727
その他	713	945
営業外収益合計	4,821	9,732
営業外費用		
支払利息	10,078	9,679
為替差損	9,792	3,530
社債発行費	-	5,724
上場関連費用	-	22,272
その他	1,039	461
営業外費用合計	20,910	41,668
経常利益	118,045	263,431
特別利益		
有形固定資産売却益	1,213	-
特別利益合計	1,213	-
特別損失		
有形固定資産除却損	184	229
減損損失	-	4,850
事務所移転損失	2,885	2,989
特別損失合計	3,070	8,069
税金等調整前当期純利益	116,188	255,361
法人税、住民税及び事業税	36,460	109,903
法人税等調整額	7,606	△11,373
法人税等合計	44,067	98,529
当期純利益	72,121	156,831
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△175	1,600
親会社株主に帰属する当期純利益	72,297	155,231

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	72,121	156,831
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,026	91
その他の包括利益合計	△1,026	91
包括利益	71,095	156,923
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	71,271	155,323
非支配株主に係る包括利益	△175	1,600

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	13,075	3,075	609,715	625,865
当期変動額				
新株の発行	4,980	4,980	-	9,960
剰余金の配当	-	-	△23,000	△23,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	72,297	72,297
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-
当期変動額合計	4,980	4,980	49,297	59,257
当期末残高	18,055	8,055	659,012	685,122

	その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,151	1,151	-	627,016
当期変動額				
新株の発行	-	-	-	9,960
剰余金の配当	-	-	-	△23,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	-	72,297
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,026	△1,026	2,824	1,798
当期変動額合計	△1,026	△1,026	2,824	61,055
当期末残高	125	125	2,824	688,071

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	18,055	8,055	659,012	685,122
当期変動額				
新株の発行	165,600	165,600	-	331,200
剰余金の配当	-	-	△7,824	△7,824
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	155,231	155,231
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-
当期変動額合計	165,600	165,600	147,407	478,607
当期末残高	183,655	173,655	806,419	1,163,729

	その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	125	125	2,824	688,071
当期変動額				
新株の発行	-	-	-	331,200
剰余金の配当	-	-	-	△7,824
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	-	155,231
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	91	91	1,600	1,692
当期変動額合計	91	91	1,600	480,299
当期末残高	217	217	4,424	1,168,371

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	116,188	255,361
減価償却費	14,668	13,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△113	51
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△6,600	△4,900
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,500	△3,200
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,870	4,641
受取利息及び受取配当金	△330	△234
支払利息	10,078	9,679
支払保証料	57	154
上場関連費用	-	22,272
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,213	-
有形固定資産除却損	184	229
減損損失	-	4,850
売上債権の増減額 (△は増加)	△95,007	△13,721
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,900	△472,365
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	56,224	△30,472
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	1,719	△121
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,617	△40,992
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△49,196	152,414
その他	△113	14,561
小計	75,634	△88,481
利息及び配当金の受取額	330	234
利息の支払額	△10,354	△9,809
法人税等の支払額	△20,082	△52,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,527	△150,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△67,918	△36,021
定期預金の払戻による収入	23,900	12,000
短期貸付金の回収による収入	△1,374	504
有形固定資産の売却による収入	1,213	-
有形固定資産の取得による支出	△3,985	-
無形固定資産の取得による支出	△3,000	△5,423
差入保証金の差入による支出	△184	-
差入保証金の回収による収入	3,823	6,907
資産除去債務の履行による支出	-	△4,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,526	△26,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	550,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△365,528	△521,299
社債の発行による収入	-	294,275
社債の償還による支出	△50,000	△55,000
配当金の支払額	△23,000	△7,824
非支配株主への株式の発行による収入	3,000	-
新株の発行による収入	9,960	325,227
株式公開費用の支出	-	△16,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	124,432	419,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,010	△6,113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	121,423	235,324
現金及び現金同等物の期首残高	322,197	443,620
現金及び現金同等物の期末残高	443,620	678,944

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは各種オリジナル商品等の企画販売を行う事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	262.75円	400.26円
1株当たり当期純利益	31.13円	59.22円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	-	59.18円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないことから記載しておりません。

2. 当社は、2020年12月17日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ上場したため、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

3. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	72,297	155,231
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	72,297	155,231
普通株式の期中平均株式数(株)	2,322,784	2,621,114
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	1,935
(うち新株予約権)(株)	-	(1,935)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1—2回新株予約権 新株予約権の数1個 普通株式10,000株 第2回新株予約権 新株予約権の数1個 普通株式8,000株 第3回新株予約権 新株予約権の数33,000個 普通株式33,000株	—

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	688,071	1,168,371
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,824	4,424
(うち非支配株主持分)(千円)	(2,824)	(4,424)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	685,247	1,163,946
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	2,608,000	2,908,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。